

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	地域情報拠点施設の整備事業		コード	担当課	情報政策班
			01-01-17-02	担当者	谷本 隆二
事業実施期間	H13~		電話	64-1812	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	情報通信			
	施策	地域情報拠点施設の整備			

事業について	
目的	市民生活の利便性向上のために、市公共施設や学校などを情報拠点として位置づけ、機能の充実に努めます。公共施設の移転等に伴う対応も含む。
対象(誰のために)	市民。 移転にあたっては、ネットワーク変更などが必要となった病院・学校などの事業担当者及び事業受託者。
内容	移転の予定やネットワーク変更の内容をヒアリングし、基幹系・情報系・公開系などネットワーク特性に併せた仕様や光ファイバー工事仕様など必要な情報をネットワーク保守業者などと協議の上で提示する。基本的に施設移転など大きな工事の場合は設計会社側の設計書への反映材料提示となる。H17は日生病院、吉永病院、伊里中学校の移転工事があった。

事業の結果							
実施項目		17年度		回数など		回数など	
		回数など		(単位)		(単位)	
伊里中学校		移転					
日生病院		移転					
吉永病院		移転					
事業費 (単位:千円)							
事業費		財源		事業費		財源	
直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
人件費		2,620		人件費		2,620	
合計		2,620		合計		2,620	
必要人員		0.30		必要人員		0.30	
結果指標名		移転等施設		結果指標名		移転等施設	
結果指標量		3		結果指標量		3	
対前年比		-		対前年比		0.00%	
事業費		2,620,000		事業費		2,620,000	
単位当たりコスト①		873,333		単位当たりコスト①		873,333	
結果指標名		移転等施設		結果指標名		移転等施設	
結果指標量		3		結果指標量		3	
対前年比		-		対前年比		0.00%	
事業費		2,620,000		事業費		2,620,000	
単位当たりコスト②		873,333		単位当たりコスト②		873,333	

事業の成果			
成果指標名	安定接続(トラブル発生回数) 〇回	式又は説明	3施設とともに問題なし
成果指標量	17年度		
対前年比	-		
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		
コメント	施設の移転に伴い、必須の事業であった。情報化推進室としては、コスト削減、安定・スムーズな移行に留意した。なお、移転については発生頻度は予測不可能。	評価区分 <A~E> A

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

3施設の移転があり、拠点施設整備の必要に迫られ、実施した。

移転の打合せに参加し、他部署との協力のもと、効率的に移転できている。

移行に際し、トラブルもなく、安定的にスムーズに移行できた。